

令和5年度 第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和5年11月24日（金） 19:00～
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館（安良里） 3階多目的ホール
- 3 出席者
委 員 高井廣、生田繁善、藤井文憲、浅賀丈吉、花田麻莉子、中平阿美
山本諭、島田桂吾、金刺和子、藤井節子、藤井定男、山本久美子
齋藤雅子、山本美生、渡邊篤之、土屋有一
オブザーバー 山本憶久、鈴木ゆきみ
町当局 鈴木教育長、朝倉事務局長、朝倉通彰、山本みち代

事務局長：それでは皆さんこんばんは。まだ2人ほどお見えになっておりませんが、定刻となりましたので始めたいと思います。本日は忙しい中、また夜間での会合にお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今から、令和5年度の第1回の西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催します。進行の方を務めさせていただきます、教育委員会事務局長の朝倉と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、お手元の次第の沿って進めて参りたいと思います。次第の2ということで、教育長から挨拶をいただきたくと思います。よろしくお願ひします。

教 育 長：皆さんこんばんは。すいません、ちょっと風邪をひいて喉が痛いもので。本日はお集まりいただきましてありがとうございます。昨年11月にこの場において、統合認定こども園及び小中一貫校の建設地を仁科の先川地区とすることについて妥当であることを町民の方々に対して説明会を開催し、理解をしていただくことが必要であるという答申をいただきました。しかし、町民の方々から理解をしていただくことが出来ず、いただいた答申を実現出来なくなり誠に申し訳ありません。今、教育委員会では園と学校を同じ場所にすることには拘らず、まず津波浸水区域にあるこども園を安全なものにしたいと考えております。従って今日は、こども園をどうするかを考えるためにこれまでのワークショップの内容を説明させていただき、これから候補地を考える手順を御理解いただくことを予定しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局長：ありがとうございました。それでは、次第の3ということで初めに委嘱状の交付を行いたいと思います。区長の交代、それから園・学校の人事異動などに伴いまして、今回新たに5人の方に…6人の方に委嘱

をさせていただきます。紹介された方は前の方へ整列していただければと思います。1人目としまして、田子区長会長がですね森元久様から変更となりまして生田繁善様でございます。どうぞ前の方へお願いします。それから保護者代表としまして、鈴木道様に変更しまして山本諭様、前の方へよろしく申し上げます。次に学識経験者として島田桂吾様、前の方へよろしく申し上げます。それから認定こども園の人事異動に伴いまして仁科認定こども園の齋藤雅子園長、それから伊豆海認定こども園の山本美生園長、前の方へよろしく申し上げます。最後に西伊豆中学校の松本校長の退職に伴いまして土屋有一校長、前の方へよろしく申し上げます。以上6人の方に新たに委員を委嘱をさせていただきます。それでは教育長、よろしくお願ひいたします。

～～～委嘱状交付～～～

事務局長：それでは、続きまして次第の4の役員改選ということで提案をさせていただきます。教育長から説明を申し上げます。

教育長：では、着座で説明させていただきます。現在、委員長を高井廣様、副委員長を藤井文憲様に務めていただいているところですが、昨年の委員会を開催して行く中で住民の方が委員の皆さんのお宅への個別的な訪問などもあり、委員と地域の一員という狭間で御苦勞をいただいたこともありました。そういったことも踏まえ、今回は町外の方にも参加いただき、地域のしがらみがなく中立な立場で意見を述べていただきたいと考え、静岡大学准教授の島田桂吾先生に参加いただきました。また、島田先生は牧之原市の学校再編にも委員として参加し、県の教育行政への関わりなどもあること。また、西伊豆町のこれまでのワークショップの進行役を務めていただき、現在の状況を把握している島田先生にこの会の進行もお願ひしてはどうかということで事務局内で協議し、高井委員長に事前に相談させていただきました。高井委員長、藤井副委員長にも御理解いただきましたので島田先生を新委員長に推薦したいのですが、皆さん如何でしょうか。

～～～拍手～～～

教育長：ありがとうございます。次に副委員長についても事務局から提案させていただきますが、高井委員長に務めていただけると助かりますが如何でしょうか。

～～～拍手～～～

教育長：それでは、副委員長を高井廣様にお願ひしたいと思います。承認いただきありがとうございます。それでは、委員長は島田桂吾様、副委員長は高井廣様にお願ひします。それでは、席の移動をお願ひい

たします。

事務局長：それでは次第の5となりまして、新委員長の島田桂吾様から就任の挨拶を兼ねて自己紹介をお願いいたします。

委員長：皆さん、こんばんは。ただ今、委員長に就任いたしました静岡大学の島田と申します。元々専攻が教育行政学の方を専門としておりまして、静岡県は平成24年度から学校関係で静岡県で〇〇〇〇の方で勤務しております。伊豆地域については、確か平成25年度だったと思いますけれども、賀茂地区における指導主事共同設置のところにおいて委員長を務めさせていただきます。ちょうど先生、御一緒させていただいて、今日ここで再会出来てとても嬉しいです。ひょんなところから今回、伊豆海認定こども園のワークショップの方のファシリテーターということで月1回土曜日〇〇〇よりフェリーで来てまして来ました。今日もフェリーで来る予定だったんですが強風の為欠航ということで陸路で来ました。そうですね、非常に今回認定こども園が2園ある中で、どちらも津波浸水想定区域の中にあるということ。保護者の方からより安全な場所を求める声が強いです。一方で西伊豆の町、地形的な課題からなかなかベストの土地が見つからない中で、ワークショップの中でも様々な候補地が出て来てまして、ただどれも〇〇〇〇で結論が出ないような状況でした。改めて文教設備等整備委員会で改めて、科学的なことも含めて〇〇〇〇いただきまして、これからの西伊豆町の子どもたちが安全安心に通えるこども園を整備していく為のお知恵をお借りしたいと思っておりますので何卒よろしくをお願いいたします。

事務局長：ありがとうございます。続きまして次第6の議題に入ります。進行につきましては、委員会規則第5条第3項の規定によりまして、「委員長は会務を総理し」とございますので、会議の進行をお願いいたします。

委員長：それではここから私が進行いたします。では、次第に沿いましてお手元の議題の(1)「認定こども園の在り方を考えるワークショップの経過報告について」事務局から御説明をよろしくをお願いいたします。

山本係長：それでは、お手元の資料「認定こども園の在り方を考えるワークショップ経過報告」のこちら、右上に参考資料と記載されておりますちょっと小さな文字になっておりますが参考資料と記載されております横版の資料、こちらを両方使いながら説明させていただきたいと思っております。

「認定こども園の在り方を考えるワークショップ」につきまして

は、5月に皆様の御家庭にも募集のチラシを配布させていただき、また8月号の広報にも掲載させていただきましたので御覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、ファシリテーターに今日の委員長 島田先生を迎え、6月24日に第1回「認定こども園の在り方を考えるワークショップ」を開催し、10月28日まで毎月1回、仁科認定こども園・伊豆海認定こども園の両園長にも参加いただき、計5回開催して参りました。こちらのワークショップですが、当初参加者を30名程と予想しておりましたが、実際の参加者は17名となっております。参加者の構成としましては、保護者が4名、一般方が13名となっており、ワークショップにおきましては全4班に分かれて皆様に協議いただいております。

では、実際のワークショップの中身について説明させていただきます。内容について説明させていただきます。次第に添付しておりますこちら、ワークショップ経過報告第1回です。第1回のワークショップでは、ワークショップの意味として参加者が主体的に参加をする研究集会であるということ。また課題解決の為の手法として対話の場であり、多くの意見を出す場であることを説明いただいたうえで作業・話し合いに入らせていただきました。こちら、第1回「認定こども園の在り方を考えるワークショップ」の参考資料1を御覧ください。参考資料1の11ページに記載されておりますが対話の約束として、「話している人の話を最後まで聞く。」「みんなが安心して話せる場を作りましょう。」など事前の約束をしてワークショップを進めさせていただいております。

続いて11ページです。まず第1回では、ワークとして西伊豆町の子どもたちが小学校に入学するまでに身に付けて欲しい力と、ワーク2として認定こども園に期待すること、またこども園の現状で知りたいこと・分からないことを議論していただきました。ワークを通して参加者の皆さんからは、西伊豆町の子どもたちが小学校に入学するまでに身に付けて欲しい力については、保護者が多い班からは自立心は自尊心、人と関わる力、挨拶などのコミュニケーションなどという意見が多く出されました。また、一般の方が多い班からは人に迷惑を掛けない、みんなと一緒に遊べる、ルールが分かる、いじめをしない、郷土を愛する気持ちと高齢者と交流が出来る、また津波から逃げる力を養う、基本的な生活習慣、中にはせっかく西伊豆に住んでいるということもありまして海遊びを楽しむ子どもといった意見も出されました。こちらをまとめて第2回の参考資料2の第2回のところにまとめさせていただいております1とし

て、自分と向き合う力・自立・遊びを楽しむであるとか、生活習慣等とまとめさせていただいております。

また2としまして、人と関わる力であるとか挨拶・コミュニケーション・いじめをしないなどといったかたちでまとめさせていただいております。

また3として、地域で活かす力・ルールが分かる・郷土を愛するといった意見としてまとめさせていただいております。

続いて第1回参考資料1のワーク2、14ページ15ページに記載されております「認定こども園の現状で知りたいこと・分からないこと。またこども園に期待すること」といった内容では期待することとして、西伊豆町ならではの特色のあるこども園であるとか、1人1人が挑戦できる園、個性を尊重して欲しい、或いは命の大切さや思いやりを教えて欲しい、園の様子をもっと公開して欲しい、防犯面の心配のない園といった期待することがあげられました。続いて知りたいことでは、避難にあたって今、困っていること。園外や保育者が少ない時の防災対策について、また保育者1人当たりが何人の子どもを見ているのかや保育者は足りているのかなどといった労働環境面についての質問や今、西伊豆町に支援が必要な子はどの程度居るのかなどといった意見が出されました。こういった知りたいことの中に地震の中で避難にあたって今、困っていること。或いは園外や保育者が少ない時の防災対策などといった防災の面での質問がありましたので続いた第2回では伊豆海認定こども園と仁科認定こども園の避難の状況を動画として撮影し、上映させていただきました。この場でも本日その時に流した動画を流させていただきたいと思っておりますので御覧ください。

～～～動画上映～～～

今、御覧いただいた動画を第2回のワークショップにおきまして参加者の皆様に御覧いただきました。この第2回では認定こども園の両園長からですね、「こども園の平時、日常的な状況と安全対策の現状について」というかたちで色々な説明をしていただきました。平時、日常の状況では子どもの人数が少なく、競い合うことや集団で遊ぶことなどの活動の幅が少ない。或いは子どもの人数が少ない一方で園を運営するには一定数の保育士の確保が必要ですが、なかなか確保が難しいなどの説明をしました。また、先ほど御覧いただいた動画を見ていただいた後に認定こども園での避難訓練の現状ということで「安全対策の現状について」説明いただき、仁科認定こども園先ほど動画で出ていましたが、屋上避難地に逃げておりますが

人数に対してスペースが狭いであるとか、自力で避難出来ない子どもたちが多く居るといった課題が出されました。仁科認定こども園は0歳児から園児を保育しておりますので、自力で歩くことの出来ない園児などもおりますので自力で避難出来ない子どもたちが多く居るといった課題。また伊豆海認定こども園では、園の目の前に海があり津波の到達時間が最短で4分と言われている現状で揺れが収まってからの避難では間に合わない。今の避難の様子からしても簡単に4分は過ぎてしまうといった状況。また避難地となっている神社には、石碑や石垣があり崩れてくる可能性があるなどの説明がされました。参加者はこの避難訓練の様子や動画を見ていただいて、避難訓練が頻繁になされていることは良いことだと思う。或いは保育の内容とか地域との交流があるのは良いことだと思うという意見が出された一方で、不安・懸念に思うこととしましてやはり避難場所ということ。或いは避難の方法、避難地の安全性。伊豆海認定こども園における崖崩れの可能性や仁科認定こども園の屋上避難地が狭いことなどは懸念させることとしてあげられました。そこで認定こども園の立地或いは建物の条件として、どのような場所がでは相応しいのかという話し合いを第3回に開催しました。参考資料3の第3回の資料を御覧ください。第3回のワークショップでは、立地或いは建物の条件、立地又は建物の条件を主題としてワークショップを開催しております。引越しをする時に理想的な生活を想像し、また現在の場所の良い所・悪い所を考え、そして立地や建物の条件を決めるのと同様に認定こども園におきましても、望ましい保育環境を前提とした立地や建物の条件があるのではないかとということで、参加者の皆様に御検討いただいています。まず、立地の条件として浸水区域外へ移すことについて、それぞれの班で賛成であるか反対であるかグループ内で協議してくださいということ。また、建物の条件として統合すること。こども園を1園に統合することと統合することについてグループで協議していただきました。まず1園に統合することにつきましては、4班共に統合して1園に言ったことで御意見の一致が見られましたが、浸水区域外へ移すことにつきましては意見が割れて参加者の皆様からは、もちろん浸水区域外へ移すべきだと言った意見もありましたが園に居る時間より浸水区域内にある自宅に居る時間の方が長い。浸水区域内でも住宅地に近い、また地域住民が避難できる場所が良いのではないかと。或いは津波だけでなくそれ以外の安全面も考慮すべきだ。浸水区域内では統合できる場所が無いのではないかと。言った意見も見られ、浸水

区域外へ移すことにつきましては意見の一致というかたちにはなりませんでした。この第3回におきましては、こういった建物の条件或いは立地の条件を前提として、次回認定こども園の候補地を考えるという宿題が出されました。そこで出された候補地が皆様にお配りしております縦の資料、経過報告に添付されております地図とデメリット・メリットを記載しております資料となっております。こちらに記載しております番号につきましては、北から順番に番号を付けておまして北側の賀茂小学校敷地から始まり、松崎町寄りの海名野温泉スタンド上までが10ヶ所となっております。この中で認定こども園候補地として、賀茂小学校の敷地、安良里中田避難地、バイパスにございます町民運動場、そして現在の田子小学校、続いて旧洋ランセンター、堂ヶ島にありますらの里堂ヶ島の駐車場、そして旧西伊豆中学校跡地、旧西伊豆中学校裏山、そして先川地区、海名野地区の温泉スタンド上、横ですね。そちらの場所が10ヶ所参加者の皆様から上げられました。こちら17人の中から10ヶ所となっておりますのは、もちろん同じ場所を提出された方も何人もいらっしゃいますし、また複数意見を出された方もいらっしゃいましたがまとめて10ヶ所というかたちになっております。

それぞれメリット・デメリットとしましては、こちらに記載されておりますが代表的なものとしまして、賀茂小学校につきましては浸水区域外にはありますがこちらはメリットとして上げられておりますが、デメリットとしてやはり町内の一番北側にあるということ。町の比較的中心部から離れているということでアクセスが不便という意見がございます。

続いて2番中田避難地につきましては、安良里地区にお住まいの方はお分かりかと思いますがこちらの中田避難地は安良里診療所、こちら今、動画を流しておりますが安良里診療所の近くにありますが避難場所。安良里地区のほとんどの方が避難する場所になりますがこちらになります。この場所が以前、こども園を設置してはどうかという意見が上がっておりまして、こちらも候補地として上がったかたちになります。メリットとしましては、以前検討されたことがあるから土地の取得が可能ではないか、或いは診療所が近い、浸水区域外であると言ったメリットが上げられております。ただ一方でデメリットとしまして、子どもの多い地区から遠いという賀茂小学校と同様の意見が上げられております。こちら人目が少ないとは書いておりますが比較的住宅地も近いことから人目が少ないということとはあまり無いのではないのかなというふうには考えております。

続きまして3番町民運動場になります。町民運動場は皆さん御存知だとは思いますがバイパスにございます。こちらの場所はバイパスにございますことからどの地区からも通いやすいのではないかという意見。ただ一方で車の通りが多く危険、町民運動場が無くなり代替えの用地が必要になって来るのではないかと言った御意見もございます。

続きまして田子小学校です。こちら田子小学校につきましては、現在田子小学校として使用しておりすぐという訳ではありませんが令和6年3月に賀茂小学校と統合し、廃校となることがありまして参加者の皆さんから浸水区域外にある、校舎の活用することによって時間や費用を短縮できるのではないか、町有地であること、またどの地区からも通いやすい立地にあるのではないかと言った意見。一方で急傾斜地崩壊の区域に当たっているというデメリット、また周辺の道路の改善が必要ではないかという意見。そして地質調査が必要ではないかと言った意見もございます。こちら校舎が建っておりますのでちょっと分かりにくくなっておりますが、裏側が急傾斜地崩壊区域となっております。

続いて5旧洋ランセンターです。旧洋ランセンターにつきましては、場所については御存知の方も多くいらっしゃるかと思いますが堂ヶ島の北側にあります元の洋ランセンターがあった場所で現在は町有地となっております。広い敷地とはなっておりますがまた浸水区域外とはなっておりますが、こちらの進入路であるとか地質の安全性などが問題があると言われております。今現在はこういった流木であるとか防災倉庫などが建設されておまして、一部を町で活用しているというかたちになります。

続きましてらの里堂ヶ島の駐車場です。らの里堂ヶ島の駐車場につきましては浸水区域外にあると言った利点から上げられた地点ではございますが、現在の所有者からこちらを譲っていただくのは難しいという御意見をいただいております、実際の活用としては難しいのかなという理解をしております。

続きまして7番旧西伊豆中学校跡地です。旧西伊豆中学校跡地につきましては現在仁科地区にございます場所となっております、この裏山についても併せて説明させていただきますが住宅地に近く、またこちらに認定こども園を設置した場合には避難地としても活用が可能ではないか、また仁科小学校の建物或いは敷地と一緒に併せたかたちで活用できるのではないかと言った意見がございます。一方で旧西伊豆中学校跡地に認定こども園を設置する場合には、高さ浸水

区域内にございますことから盛土が必要ではないか、1階には駐車場、教室は2階以上にするなどの工夫が必要ではないと言った意見がございます。こちらは急傾斜地の場所ともなっておりますのでそう言った危険の可能性と言った意見もございます。

続きまして9番先川地区です。先川地区につきましては昨年度皆様に御協議いただいた場所となっておりますので、場所などにつきましては十分御存知かと思えますが住宅地外で防犯面も安心、また救急車、消防署が近く園児が多い地区である、観光客が少ないなどと言った利点の一方でやはり土地の取得に課題がある、反対意見が多いのではないかと考えたデメリットが上げられております。ちょうどこちら見えている所が消防署になるかと思えます。

続きまして10番海名野温泉スタンド横になります。こちら動画では場所が違っておりましたが、こちら海名野温泉のもっと上流側を動画では映しておりますが、実際提案された方は海名野スタンドのすぐ隣の敷地を提案されたようでして、そちらにつきましてはやはり若干認定こども園に敷地としては狭いというデメリット。そして川を渡った場所であるということでアクセスをするには橋を渡らなければならない、そして北側の土地であると言ったデメリットが上げられております。

第4回のワークショップではこの10ヶ所、今上げさせていただきました10ヶ所の候補地のメリット・デメリットを今、申しあげましたように皆様に上げていただきました。この結果から先月開催しました第5回ワークショップでは、この10ヶ所から更に候補地の絞り込みの作業を行いました。候補地の絞り込みの作業にはそれぞれ更にメリットやデメリットについて細かく検討いただき、各班で最終的な候補地として上げてても良いのではないかとされる所を上げていただき、残った候補地がこちら候補地の経過の資料に掲載されております6ヶ所となります。6ヶ所につきましてはこちら番号は地図上に落とされております番号になっておりますが、上から安良里地区にございます中田避難地、4番田子小学校、5番旧洋ランセンター、6番らの里駐車場、7番西伊豆中学校跡地、9番先川地区が最終的な候補地として6ヶ所上げられております。「認定こども園の在り方を考えるワークショップ」の経過につきましては以上となります。

委員長：はい、ありがとうございました。それではワークショップについて丁寧に説明いただきました。ここでもし皆さんの方から御質問や更に確認したいことがございましたら〇〇させていただきたいと思

ますが如何でしょうか。〇〇・・・〇〇挙手をお願いします。

〇〇・・・〇〇ワークショップを行うに当たって意識したこととしては何か一つ結論を出すということ、参加者の方々がどのような思いをしているかというようなところ、そして〇〇を大切にしようということで基本的に女性に意見を書いていただいてそれを模造紙に貼りながら〇〇して、そして全体を通して〇・・・〇行いました。ちょっと参考資料の方にいくつかまとめた言葉があったかなと思いますけれども、これらは基本的には参加者の方々が御自身で書いた言葉になります。それをいくつかにして〇〇行って行きました。特に第1回のところでは認定こども園のその先の小学校までに付けさせてもらいたい力は何かっていうことで1回目でワークショップでどこまで意見が出るかなっていうところでこちらとしても〇〇〇心配なところでもあったんですけども、それぞれ皆さん熱心に御自身のお孫さんが居たりだとか、これから〇・・・〇進めていただきました。ただ一方でやっぱり認定こども園の現状についてあまり詳しくない方が多かったものですから、そこで第2回ということで両園長先生に御説明いただいたものを実際に避難訓練の様子を先ほど皆さんに御覧いただきましたけれども、そういった避難訓練の様子を見ながら今の現状のままで良いかどうかというところを議論していました。その中で〇〇〇〇こども園がこんなに素晴らしい〇〇〇〇してるんだ、保育をしてるんだということ。一方でこれを毎月避難訓練をやっていて非常に先生方が大変であることと実際地震が来た時の対応ということでより課題も多いのではないかという意見が多数になりまして最終的には1つに統合して移設をするということが合意されたかたちになりました。その上でじゃあこの場所にするかという時には多くいろんな意見が出て大きく2つかな。1つは津波浸水区域から外していきたいという声、具体的な所については中田避難地か田子小学校がそれに当たるかなと思います。やはり東日本大震災で印象ですとか実際現地に行かれた方も結構いらっしやいまして、やっぱり津波に関するリスクというのは極力避けるためには少なくともハザードマップ上で想定させていない場所に最初から設置するという事は責任なのではないかということ。〇・・・〇。一方で〇〇がですね、利便性ということですかね特に住民の方が近くに住んでいたりですとか実際子どもたちがこれまで〇〇こども園の地域が保護者の方と連携しながら様々な取り組みがされていて、そういった方々と触れ合えるような日常的に触れ合えるような環境という所、そういった意味ではある程度住宅地であっ

てその候補地に対して、こういった懸念があるから調査は必要でしょという附帯意見をいただいた時に、もしその調査をして最終候補地がまた出来なかったということになりますと、また振り出しに戻ってしまうということもございますので、6ヶ所上がっている中でそこをまたふるいにかけていただいても結構ですが、第1候補は最終候補地としてこれ、しかし第1候補地がもしそういったことでダメであれば、第2案としてはこの候補地を提案するというようなかたちでの答申をいただければありがたいなというふうに考えています。ですのでワークショップのこれまでやって来たということについては当然この6候補地から絞っていただくということでございます。

町の考えはということでございますが、ちょっとこれは12月の定例会で議員さんからの一般質問もありますのでちょっとここでは具体的には言えないところでございますけれども、当然今までも津波浸水想定区域外というものが第1前提で町としては考えて来ている状況でございます。ワークショップの中での意見もございましたがそうは言っても適地が無いと。そう言った中でそれでは盛土をして高台に敷地を造成してこども園というのは当初に計画案でございます。ですので、津波浸水区域内にもしその物を整備するとなればまた同じような候補を取る必要があるだろうというふうには考えているところでございます。

それでですね、今後のスケジュールということでございますが一応今の案としましてはなかなか島田委員長と町の町長の方のスケジュールというものがなかなか調整が難しいという中で、本来であれば第2回目のこの委員会で町長から諮問というかたちで諮問書をお渡しいただきたいところなんです、なかなかスケジュールが合わないということであまりスケジュールを後ろに持って行くというものも好ましくないということもございますので、ちょっと調整させていただきまして12月の15日にですね、町長室に委員長にお見えになっていただきましてそこで町長から諮問書をお渡しいただくというようなことを今、予定しております。まだ調整中でございますので決定ではございませんがそういったかたちで進めて行ければなというふうに思っております。その後、またこの委員会の中で議論を重ねていただきまして認定こども園の最終候補地それから整備方法をですね、候補地に上がっている田子小学校の敷地については2つの意見がありました。既設の建物を改修する方法、それからそれはそのままにして新設で建設する方法という提案をいただいております。

ますので、そういったことも踏まえながら議論をしていただければ
など思っております。最終的には町長へ答申をしていただくという
ようなかたちで進めていただきたいと思います。その後、新
委員長と打合せをしながら最終的にどういうふうに決めて行くのか
ということは詰めていきたいと思いますが島田委員長さんは最初の
紹介にもありましたけれども牧之原市の学校再編ということにも携
わっておりまして、そういった参考資料も参考にしながら使えるも
のは使って行って決定をしていただければなというふうに思ってお
ります。今後の流れについてはこのようなかたちになります。

次回の委員会の日程を言わせていただきますが、15日に諮問をさ
せていただきましてその1週間後の12月22日にまた同じ時間同じ
場所で第2回の会議を開催したいというふうに思っております。も
し今の時点でその日程が都合が悪いという方いらっしゃいましたら
挙手をいただければと思いますが如何でしょうか。

仁科小学校長：小中学校は終業式の。

〇〇〇〇：何曜日？

事務局長：12月22日金曜日です。それではちょっともう一度持ち帰らせてい
ただきまして15日の諮問の後にもしそのままスケジュールが取れら
ばですね、15日か22日というかたちで調整をさせていただければ
と思います。すみません、因みに12月15日金曜日の夜がダメとい
う方はいらっしゃいますか。それではまた調整させていただきまし
て御案内させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願
いいたします。

委員長：ありがとうございます。今の御説明でよろしいでしょうか。なの
で、〇〇〇からではなく6ヶ所からスタートするという、ただ
ワークショップでは例えば法的なところとかお金のことでとか
ということは一切検討していませんので、そういったところにつ
いて改めて〇〇いただきながら皆さんのいくつか候補を絞る〇〇
必要があるんじゃないかと思っておりますけれども、そういった中
で例えば点数化して6ヶ所を点数化してどこが望ましいのか。た
だ1がそのまま行くとは限らないと思っておりますのでちょっと
順位をつけながら絞り込んでいくというようなイメージで一方は
考えておりますけれども、まだ諮問が出ていない〇〇のでそこ
については第2回以降のところ
で御提案させていただければなと思っております。

他に無いですか。お願いします。

〇〇〇〇：私たちが意見を言うのに資料ですけど、この6つに絞られたのは分
かって書いてあることもある程度は分かりますけど、やっぱり意見

を言う時には色々なこの6つのことについての出来るだけ細かい資料というんですかね、これ以上細かいのが出ないって言うならいいんですけどしょうがないですけど、判断するのに今度決定してまたダメだったになると困りますので慎重に1つに絞って行かないとならないと思いますので、資料がメリットとデメリットがありますけどこれ以上もしあったらその話し合いの時に出してほしいですけども。

〇〇〇〇：この今、西伊豆町〇〇〇もそんなんですけど、ここのメリット・デメリットの中に金額的なものは何にも、私が普通の今の時代でしたらそんなの前に中学を作る時よりも70億とか色々そういう問題が非常に町の中でも問題になったように、例えば1番は1億で2番が5億だったらじゃあ1番の方が良いって、そのこれだけのデメリット・メリットじゃなくってその金額っていうこともすごい大事だと思うんですよね。もちろん、その業者を呼んで全部見積り取ったりしたらまた大変な経費やら時間やらがかかると思うんですけども、ある程度の専門家にそれぐらいの例えば田子小跡でも新しく建てるならこのぐらい、そのままならこのくらいっていうある程度のものが無ければ私は判断できないです。

委員長：ありがとうございます。まさしくおっしゃるとおりだと思いますのでワークショップでは一切そこは触れておりませんので、改めてこの委員会のところで正式なたぶん土地面積、お金も面積によって変わってきます。例えば盛土を何メートルにするかによって金額が全部変わって来ますのでそう言ったところも細かく示唆をしてから行政へお願いしますみたいなそう言った〇〇〇ながら、じゃあこれは実際はたして適切なものかどうかということをお客様の方から御意見をいただきながら慎重に且つ正確に皆さんに〇〇〇〇ながら適切な候補地を選定出来ればなと考えております。ありがとうございます。〇〇・・・〇〇如何でしょうか。

〇〇〇〇：私も前々からこういう整備委員会をやってるんですけど、実際的に現場へ行ってみないとどんな状態なのかははっきり分からない。今、お金の話もありましたけれど「これをやるにはこれぐらいの、ここはこれぐらいですよ。」とかそう言ったものもありませんよね。先ほど検討しようがないとか。現場を見た6カ所の所を絞り込んだ所を現場を見たらどうでしょうかね、皆さんと一緒に。私はそういう提案をしたなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。現地視察ということでね。実はワークショップの中でも10ヶ所を絞られた段階でやっぱり現実に見て

みないと分からないということで、〇〇の回とは開催回数に数えなく希望者ではあったんですけども10ヶ所全部回らせていただきました。〇〇人もこのワークショップが始まる前に〇〇いたんですけども、そういったことでまた是非皆さんこの文教整備委員会の中で改めて見させていただく機会でも作ってもらいたいなということで御理解いただきましたので検討して行きたいなと思います。ありがとうございます。他に如何でしょうか。

〇〇〇〇：メリット・デメリットの中で人目が少ないって安良里の中田避難地にあるんですけども、今どこに行っても車も歩いて人も人通りは少ないから、園バスを使うかどうかによってもその安全性というのは違ってくると思うので、そのデメリットの中に人目が少ないって言うのを入れられると今の西伊豆町の時代から考えるとどこに行っても、例えば田子小学校のところに行っても周りで歩いている人は少なし、どこの場所を取ってもみんなそうだと思うので人目が少ないって言うのはデメリットの中に確かに入るのかも知れないですけどもそれが条件で止めた方がいいって言うのはちょっと違うかなと思います。

委員長：ありがとうございます。これもある方が別に書いてそこに入っていたってことで、それがワークショップ全体でそう言ってる訳ではなかったってことは補足させていただきますが、今の貴重な御意見をいただきましたのでこれも含めてまた今後も検討させていただきたいと思います。他に如何でしょうか。

〇〇〇〇：この候補地を絞るのも大変だったと思うんですけども、実際にこども園を1園作って、ここは少子化西伊豆町で何年ぐらい実際使われるのかなってちょっと疑問に思いました。だからこども園として使ってそのあと何か施設に転用しますよとか、田子小のところにあるように高齢者等の施設に〇〇するとか町の施設としてこんなふうを使うことも考えられますよっというちょっと候補の1つと言いますか考えの1つに入れていただけたらなと思いました。

委員長：ありがとうございます。今の人口動態、出生数それによってまた大きく変わるその後にワーケーションが続いてる状況ですので、その中で認定こども園の規模だったり、或いはそれが何年まで想定させるのかその辺りも実際のデータがあると思われまますのでデータを元に〇〇して行ければなと思います。その中で例えば複合化、こども園と何か別のところに一緒に例えば設置する〇〇ですとか、或いは子どもがそろそろ例えば部屋〇〇・・・〇〇時にはそこが何か別なものに使えるようにしておくような施設がいいよってということも

またこの中で議論する中で方針として出せるのではないかなと思いますので、御意見ありがとうございます。他にあるでしょうか。

〇〇〇〇：前回の時には土地の申請等ありまして〇〇・・・〇〇ありますけれども、今回については0から出発する？何度も何度も繰り返すいつまでになって目安はありますか。

委員 長：それについては事務局の方からいつまでについていうなんか想定があるのかどうかということをお願いします。

事務局 長：おっしゃる様に前は合併特例債とかそういったお金の期限がありましたので非常にタイトなスケジュールで進めて来たというのは事実でございます。今回はそういった期限は基本的にはございません。合意形成がしっかりされた中で進んで行くというのがまず1つの構成だと思いますので、お尻というのは基本的には決めてません。可能な限り早く、それは候補地によっては当然用地取得から始めなければいけなければ当然年数は変わって来ますので、そういった意味ではいついつまでにやらなきゃならないという期限は切っていません。

委員 長：よろしいでしょうか。他、如何でしょうか。まだちょっと1回目ということでまだ諮問書ももらっていないところがありますので、ほぼ諮問書をもらえた段階でまたどのようなかたちで進めて行けるかどうか、少なくとも前回これから〇〇6つの候補地の方からスタートして行くということである程度皆さん客観的に、そしてまた皆さんの方でも一方で主観的な御意見が結構大事になって来ますので、そういった中でこれだけのメンバーに集まっていたいただきましたので多様な視点から様々な忌憚ない御意見をいただきまして、候補地の選定の方に〇〇に行きたいなと思いますので、何卒御協力の程よろしく願いいたします。よろしいでしょうか、では御質問等無いようでしたら〇〇〇〇・・・〇〇お返しいたします。

事務局 長：ありがとうございます。今、いただきました課題等につきましては持ち帰らせていただきまして提供できるものはなるべく早く提供して行きたいというふうに思っております。また日程等調整つきましたら皆様に御案内を申し上げますので、大変難しい問題ですけれどもなんとか課題を解決して行きたいと思いますので皆さまのお力添えをよろしく願いいたします。それでは、閉会の方を副委員長からお願いいたします。

副委員長：はい、どうも御苦労さんです。夜間会議であれですけど私もこういった整備委員会〇〇・・・携わってきました。実際に今1つも解決はしてません。他の市町村を見ますと西伊豆町より後から協議しているところがどんどん統合してなんで西伊豆はこの統合は出来なか

ったのか、もう反省するしだいです。皆さん御協力いただいたんですけど、そういった中でまた今後ともよろしくお願ひしたいな思ひます。

これはあれですけど、11月14・15・16日と区長さんそれから防災委員合せて東日本大震災の視察に行ってきました。岩手県〇〇。実際的にあの津波が来ますと西伊豆はもう無くなりますね。テレビとか新聞等で御存知かと思ひますけど大川小学校の〇〇〇ということで大川小学校の方に行ってきました。全校生徒108人のところの87名の生徒、それから教職員が10名。こういう会話を聞きましてもう本当に早く西伊豆はそういうことが無いようにしたいな思ひております。そうしたところで大変ですけどこれからもよろしくお願ひしたいと思ひます。御苦勞さんでした。

事務局長：ありがとうございました。